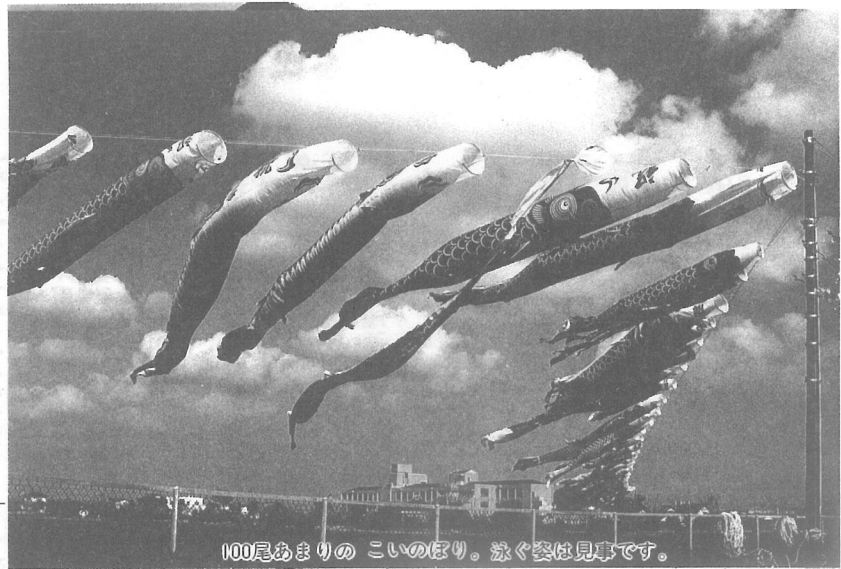


ひらば



100尾あまりの こいのぼり。泳ぐ姿は見事です。

薫風に舞うこいの群れ



大総地区のみなさんの寄付により
たくさん集まったこいのぼり。

「大総小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネットワーク事業推進委員会」（小関喜保会長）では、去る4月15日、「ふれあい坂田池公園」の空に、100尾あまりのこいのぼりをおよがせました。

これは、坂田池が農業かんがい用水池として大正8年に完成したことになちなみ、同じ8年となる今年度、なにか記念になる催しをしたいと、小関会長などが、大総地区の方々に古くなったこいのぼりの寄付を呼びかけ、実現したものです。

町民の「いいこの場」として平成5年度に完成した「坂田池公園」にまた一つ楽しみが増えました。

5月のさわやかな風になびくこいのぼりの群れは、5月10日までご覧いただけます。

「手話で歌が歌えたよ」 小中学生が手話を体験

「手話で歌が歌えたよ。」「手話っておもしろいね。」

町内の小、中学生が4月3日、町文化会館で手話を体験しました。

これは、町社会福祉協議会と当町の手話サークル「小梅の会」（秋元君子代表）の共催で、最近テレビなどでも取り上げられている手話を、子どもたちに勉強会としてではなく、「碧いうさぎ」という歌を手話で歌ってみようという行われたものです。

参加した35人の子どもたちは、和やかな雰囲気の中、歌に合わせて手話を楽しく、また真剣に学び、約2時間後には先生を見なくてもできるようにまりました。最後は手話で自己紹介をしました。最後は手話で自己紹介をしました。最後は手話で自己紹介をしました。最後は手話で自己紹介をしました。

手話は心のことば、先生を見る子どもたちの輝いた目が印象的でした。



「うさぎ」という言葉を手話に
子どもたちの目は真剣です。